

大阪市被保護精神障がい者等地域移行推進検討会議  
(令和4年度 第2回 全体会議) 議事要旨

1 開催日時

令和5年3月24日(金) 14時00分～15時30分

2 開催場所

大阪市役所2階 会議室

3 出席者

(委員) 栄 セツコ、堤 俊仁、西浦 啓之、萩原 敦子、前川 阿紀子

(大阪市福祉局保護課) 金崎課長、坂田代理、亀山代理、岩谷係長、瀬川、小林、半田

4 議題

(1) 本事業の課題等

(2) 研修のアンケート結果等

(3) その他

5 議事要旨

- ・ 事務局が地域移行支援事業の取組み(本事業の3年間の総括、研修のアンケート結果等)を報告した。
- ・ 会議委員より、「ほとんどの対象者は成年後見人が必要であると思われる。既に成年後見人としてご親族が就いている方も割といらっしゃると思うが、後見人が就いていない場合は制度を活用することで、ご本人の意思確認や契約に向けた話が進みやすい」「入院が長期化するとだいたいは介護保険の認定が切れている。申請のタイミングとしては、退院までの道筋が見え一連の動きのなかで行うのがよい」と意見があった。
- ・ 「入院の継続について一度不承認となった後に病状が悪化しているにも関わらず不承認のままになっているケースがある。病状が悪化した場合には改めて審査を行い判断しているのであれば、それを病院側に伝えてはどうか」「病院への事業説明資料において、対象者の説明時に社会的入院という文言を使うと医師からの反発が予想されるので表現を変えてみては」と提案をいただいた。